

つるおか

平成27年

6

月定例会号

●H27.8.1 発行

市議会だより



まゆ玉クラフトで鶴岡シルクの魅力を体験

中央児童館ひろっぴあで、小学生を対象にした鶴岡シルクを体験するイベントが開催されました。

鶴岡中央高校のシルクガールズによる「鶴岡シルクの歴史」や「シルクができるまで」の紙芝居を見たり、実際に飼育中の蚕を観察し、鶴岡シルクについて学びました。その後、染色されたまゆ玉を使って、思い思いの「空想の動物」を作成しました。

Vol.42

議会の概要

平成27年度補正予算を可決
条例の一部改正等
17件を審議

6月定例会は、6月2日に開会し、市当局が14件、議会が3件の議案を提案しました。請願6件については、所管の常任委員会に付託しました。
上程された議案・請願は、総括質問、委員会質疑などの後、議員提案の意見書を含め審議し、21日間の会期を経て、6月22日に閉会しました。
(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3頁)

市当局が議案を提案 4人が総括質問

開会初日は、市当局が報告4件、予算議案3件、条例議案1件、事件議案1件、人事案件1件の計10件の議案を提案し、各会派を代表して4人の議員が総括質問を行いました。(総括質問の内容は4〜5頁)

予算特別委員会を開催 提案趣旨を説明

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案3件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。

上程された議案について、報告は了承され、予算議案は予算特別委員会に、条例議案及び事件議案は、所管の常任委員会に付託しました。
次に、議第69号の人事案件を審議し、全員賛成で同意しました。(人事案件の内容は下段)



6月定例会日程

2日	本会議 (総括質問) 予算特別委員会
4・5・8日	本会議 (一般質問)
9~12日	常任委員会
19日	本会議 (請願) 予算特別委員会
22日	本会議

23人が一般質問

4日、5日、8日の3日間、市当局に対して一般質問を行い、23人の議員が市政全般について質問を行いました。(一般質問の内容は8〜14頁)

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

9日に総務、10日に市民文教、11日に厚生、12日に産業建設の各常任委員会及び予算特別委員会分科会を開催しました。

常任委員会では、条例議案及び事件議案並びに請願の審査を行い、分科会では予算議案の審査を行いました。(委員会審査の内容は6頁)

請願1件を採択 予算特別委員会で分科会報告

19日の本会議では、意見書提出を求める請願について、各所管の常任委員長が請願審査の報告を行い、請願第7号は表決の結果、全員賛成で採択としました。

また、請願第1号及び請願第3号から請願第6号は討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択としました。

本会議終了後に開催された予算特別委員会では、各分科会委員長が、予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で承認及び可決しました。

意見書3件を可決、条例議案等を全員賛成で承認・可決

議会最終日の22日、議会が、意見書提出について議会第4号から議会第6号を提案し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

次に、各常任委員長が条例及び事件議案、予算特別委員長が

予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第64号から議第68号を承認及び可決しました。
最後に、追加議案として、市当局が議第70号から議第73号を提案し、全員賛成で可決しました。



人事案件の結果

人権擁護委員候補者
長南 征子氏 (上田沢)
宮崎 清男氏 (東岩本)

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会による
永年在職議員の表彰状の贈呈があり、議場において伝達を行いました。

在職10年以上表彰

加藤 鑛一 議員
五十嵐 庄一 議員

▼市当局から提案された議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
報第 1 号	平成26年度鶴岡市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
報第 2 号	平成26年度鶴岡市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
報第 3 号	平成26年度鶴岡市病院事業会計予算繰越計算書の報告について		
報第 4 号	平成26年度鶴岡市水道事業会計予算繰越計算書の報告について		
議第 64 号	平成26年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第 3 号）の専決処分の承認について	予算特別	承認
議第 65 号	平成27年度鶴岡市一般会計補正予算（第 1 号）	予算特別	可決
議第 66 号	平成27年度鶴岡市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	予算特別	可決
議第 67 号	鶴岡市介護保険条例の一部改正について	厚生	可決
議第 68 号	市道路線の認定について 被保険者のうち介護保険料の所得段階が第 1 段階に該当するものに係る平成27年度から平成29年度までの介護保険料の額の特例を定めるもの	産業建設	可決
議第 69 号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	同意
議第 70 号	財産の取得について（ロータリ除雪車）	省略	可決
議第 71 号	財産の取得について（小形除雪車）	省略	可決
議第 72 号	財産の取得について（災害対応特殊消防ポンプ自動車）	省略	可決
議第 73 号	財産の取得について（災害対応特殊救急自動車）	省略	可決

▼議会が提案した議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第 4 号	T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書の提出について	省略	可決
議会第 5 号	合併特例債の適用期間の再延長を求める意見書の提出について	省略	可決
議会第 6 号	認知症への取り組みの充実強化に関する意見書の提出について	省略	可決

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第 1 号	農協改革をはじめとした「農業改革」に関する請願	産業建設	不採択 (賛成少数)
請願第 3 号	「安全保障法制」の制定をやめ、平和国家としての歩みを堅持することを求める意見書提出に関する請願	総務	不採択 (賛成少数)
請願第 4 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に関する請願	市民文教	不採択 (賛成少数)
請願第 5 号	年金積立金の安全かつ確実な運用に関する請願	厚生	不採択 (賛成少数)
請願第 6 号	米価下落対策を求める意見書提出を求める請願	産業建設	不採択 (賛成少数)
請願第 7 号	T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書提出を求める請願	産業建設	採択

今定例会の主なポイント

- ・羽黒庁舎改築事業、市指定文化財「日向家住宅」を復元しガイダンス施設として整備する丸岡城跡史跡公園整備事業、放課後児童対策事業委託料の増額などを含む補正予算を可決しました。
- ・請願では「安全保障法制」を含む 6 件の審議が行われました。

総括質問

市長の提案に対して
会派を代表して質問します

(執筆は質問をした議員本人です。)

新政
クラフ



五十嵐一彦 議員

農地集積の現状と今後の対応は

議員 農業の生産性を高めるため、農地集積と農地中間管理機構の役割は重要だが、本市の現状と今後の対応は。

市長 平成26年度の集積状況は、貸し付けた経営体が852、借り受けた経営体が160、面積で約788haとなっている。担い手への集積率は65・7%となっている。しかし、機構から借り受けを希望する経営体は841あり、受け手側の希望に十分応えられている状況ではない。今後は事業の周知を徹底し、人・農地プランの見直しの中でさらなる農地の集積を図っていく。

Spiber社の雇用の見通しは

議員 Spiber社の人工クモ糸が実用化に向けて一歩前進したが、今後の雇用創出の見通しは。

市長 社員数は一昨年8月末時点で39人、昨年は61人、そして5月末時点で81人と、段階的に雇用拡大が進んでいる。将来的には数百人規模の新たな雇用が見込まれるのではないかと期待している。

羽越本線の高速化の進め方は

議員 羽越本線の高速化、新幹線の導入は最重要課題だと考えるが、今後どう進めていくのか。

市長 5月14日の庄内開発協議会による県知事要望では、羽越新幹線整備と羽越本線の高速化、そして新幹線の庄内延伸を併記する形で要望したところだが、知事からは、有識者による羽越本線の高速化と山形新幹線の庄内延伸の比較検討を行った結果、羽越本線の高速化を優先とする結果が出ていること、もはやミニ新幹線ではなくフル規格の羽越新幹線、奥羽新幹線の導入が不可欠であることに理解を求める発言があった。市としては今後とも羽越本線の高速化と羽越新幹線の導入に力を尽くす。



「特急いなほ」の新型車両

市民
クラフ



佐藤 峰 議員

観光地の環境整備の現状と今後は

議員 昨年は市内の観光地に多くの観光客が訪れ、大変喜ばしい限りであり、これからもそれを維持拡大するためには、環境整備が重要なポイントである。特に羽黒山への道路は狭い上に急勾配なカーブが流れを悪くしており、渋滞を引き起こしている。道路の一層の整備を進めていくべきと考えるが、現在の状況と今後の取り組みについて伺う。

市長 鶴岡市のみならず、庄内には見どころの観光地が多く、それぞれの観光地をできるだけスムーズに移動できることが誘客効果を高めると考えている。県で進めている羽黒山バイパスの整備の進捗状況は、全長3・2kmのうち5割強の1・7kmが完成し、現在は被災への架橋工事が行われている。

庄内空港滑走路延長による 外国人観光客の誘客強化を

議員 海外からの誘客は重要と考える。滑走路を延長し大型機の乗り入れを可能にして、直行便就航による観光誘客を図っていくこと

が大切と考えるが。

市長 今後、海外からの観光誘客が課題となる状況下で、庄内地方の交流人口の拡大の要となる庄内空港を整備していくことは重要な課題である。滑走路延長により、大型機の乗り入れが可能となり、国内はもとより、海外からの利用者が増えることが期待できる。非常に課題は多いが、しっかりと取り組んでいく。



滑走路延長が望まれる庄内空港

庄内地区に新幹線導入は

議員 新幹線導入について酒田市長は山形新幹線の庄内延伸を公言しているが、鶴岡市としての考えを伺う。

市長 新潟・秋田両県の期成同盟会と連携し信頼関係を大切にしなから、羽越本線高速化と羽越新幹線導入に取り組んでいく。



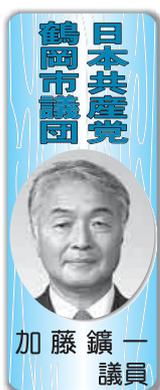
英語力向上対策を

議員 グローバル化の中で、国際共通語である英語力の向上は、日本の将来にとって極めて重要である。今後の英語教育改革においては、基礎的な知識・技術と、それらを活用し、具体的に課題を解決するための必要な思考力・判断力・表現力等の育成は重要な課題であり、特にコミュニケーション能力の育成については、さらなる改善が必要とされている。小さい時から、英語に慣れ親しむことが必要と思うが、英語教育の今後は、

市長 昨年行われた慶應先端研の国際メタポローム学会、金沢で行われたユネスコの創造都市ネットワークの総会を見ても、英語力の必要性は強く実感している。とりわけ若いうちから英語教育に取り組むことは、私自身も大きな課題と考えている。

教育長 日本の英語教育は大きな転換期を迎えている。文部科学省では、全国各地に英語教育強化地域を設け、小学校3年生から高校3年生までの10年間を通して系統的な指導法及び評価法などに関する

研究開発を展開している。本市でも、今年度から3年間、鶴岡南高校、鶴岡中央高校、鶴岡二中、朝陽三小、朝陽五小、京田小、栄小の7つの学校が、この事業における県内唯一の対象地域に指定され、鶴岡モデルの構築に取り組んでいる。また、教育環境の面では、英語を専門に担当する教員の加配措置もしており、この事業で得られた成果を全市に広め、平成30年度からの新教育課程への移行をより円滑に進めていく。さらに、市独自事業として、英会話に親しむ活動推進事業を立ち上げ、各小学校への従来のA.L.Tのほかに外国語活動支援員を派遣し、子どもたちが英語に触れる機会をより多く持てるようにしている。



消費税増税の影響は

議員 消費税の税率8%への引き上げで、本市経済と市民生活への影響はどうか。荘内病院の経営に対する影響はどうか。

市長 本市における新設住宅着工戸数が26年度はマイナスが続き、新車登録台数も前年を下回っており、駆け込み需要の反動の長期化が続いている。

病院事業管理者 26年度の病院事業の消費税支出は、総額3億6千万円の見込みで、一方室料差額など課税対象となる収入で3千万円、その差額3億3千万円が消費税負担であり、うち税率引き上げ分3%に相当する額1億2、400万円が負担増となる見込みである。

合併によるひずみ、検証すべき

議員 参議院の「国の統治機構に関する調査会」では、参考人が「合併によるひずみがどうしても出る」「町村の小さな自治を大事にしていくべきだった」と述べている。合併の検証をすべきではないか。

市長 調査会の有識者は大学教授

や県知事のみであり、合併で苦労している地域からの声は一つもない。合併市の苦勞も含めて国が何をすべきかを考えるべきだ。合併をしなければ地域は自立してやっけていくことが問われる。鶴岡市は国に対して特例債の延長などを求めていくが、同時に合併しなかった自治体への国の見解も求めていきたい。



市体協の補助金見直しは

議員 市体育協会の不正経理について指定管理と補助金の見直しはないか。市の監査ではどう調べているか。

市長 市体協のこれまでの実績を考慮し指定管理を継続する。

監査委員 今回の事案は極めて遺憾であり、指導監督等の強化と再発防止の徹底を要請する。

※教員の加配：少人数指導・習熟度別指導の実施などを目的として、教員定数に上乗せして教員を配置すること。
※A.L.T：外国語指導助手

委員会審査

提案された議案を
それぞれ所管の委員会に
付託して審査します

(審査の主なものを掲載します。)

予算特別委員会 総務分科会

ふるさと寄附金返礼品の選定は

委員 返礼品を公平に選定するにあたっては、どのように行われているか。

総務課長 返礼品は、第一義的には、鶴岡市の地元産品であることとしており、本市の優れた食文化の紹介や、アグリプランなどによるブランド化を推進していく観点から、全国的に認知度の高い農産品などを選定している。また、御殿まり、しな織、シルク製品などの伝統工芸品や地場産品なども全国に紹介したいことから、地元中小事業者からも協力してもらえる商品を選定している。



ふるさと寄附金返礼品の一例

ふるさと寄附金の使途は

委員 ふるさと寄附金の歳入見込みは、1億7千万円となっているが、その使途をどのように考えているか。

財政課長 ふるさと寄附金は、使途が限定されない一般財源であるが、寄附者の希望に沿う事業の財源に充てるべきと考えている。寄附金申し込みの際に、使途を鶴岡ルネサンス宣言の5つの文化都市宣言から選ぶもの、市長に一任するもの、使途を限定しないものの中から選択することになっており、その希望に応じて、平成27年度の決算の中で充当内容を明確にし、市のホームページなどで周知していきたい。

予算特別委員会 厚生分科会

地域福祉計画に盛り込む事項は

委員 今回の地域福祉計画改定で追加される事項は。

福祉課長 今回の策定にあたっては、前回計画から引き継がれる課題に加えて、近年、大きな課題となっている貧困、住まい、人口減少などについて計画への反映を図り、適切な施策の方針を示していきたい。

放課後児童クラブの 面積基準は満たされているか

委員 市内の放課後児童クラブのうち、一人当たりの専用区画面積基準1・65㎡をクリアしているのは何箇所か。

子育て推進課長 昨年度の調査では、公設を含め28クラブのうち基準をクリアしているのは18クラブとなっている。今年度についても調査を行い、新設された分も含めて確認していきたい。



予算特別委員会 産業建設分科会

生産資材等高騰緊急対策資金 制度に係る利子補給事業は

委員 利子補給事業対象者の件数等は。

農政課長 6月現在の件数は、13件で2、100万円ほどの貸付予定額となっている。当該資金は今年の12月まで申し込み可能なため、

さらに1、400万円ほどの申し込みを見込んで3、500万円までの貸付に対応できる内容で計上している。

全国豊かな海づくり大会の プレイベントは

委員 当該イベント経費の内容は。

農山漁村振興課長 今年秋に開催するプレイベントについては、県と市で分担することとしており、市の負担分として、鼠ヶ関港でのイベントでは、県外招待者などへのおもてなしブース設置分、「つるおか大産業まつり」と共催する「海づくりフェスタ」では、体験コーナー・地魚のさばき実演などの魚をPRするブースの設置分とすることで、県の実行委員会と協議を進めている。



イベント開催地の鼠ヶ関港

4月臨時会を開催しました

4月30日に臨時会を開催しました。市当局から条例議案3件、人事案件1件が提案されました。提案説明の後、質疑、討論が行われ、表決の結果、承認及び可決しました。



議案番号	議案名	審議結果
議第60号	鶴岡市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分承認について	承認
議第61号	鶴岡市市税条例の一部改正について	可決
議第62号	鶴岡市国民健康保険税条例等の一部改正について	可決 (賛成多数)
議第63号	鶴岡市固定資産評価員の選任について	同意

討論

鶴岡市国民健康保険税条例等の一部改正について

反対 日本共産党鶴岡市議団を代表し、反対の討論を行う

今回の国民健康保険税条例の一部改正は、課税限度額を4万円引き上げて85万円に改正するもので、引き上げは2年連続である。厚生労働省は、限度額引き上げで高所得層により多くの負担をしてもらい、中間所得層に配慮した保険料設定が可能になると説明しているが、市民の重税感耐え難いものがある。配慮というのであれば、国の国庫負担率を大幅に引き上げて、国民の負担を軽減することであり、限度額引き上げで負担増を押し付けることではない。

年収で1,000万円を超える高額所得者が多い大都市圏と本市とは事情が異なる。国民健康保険税の課税限度額は、法定の額の範囲内で市町村が独自に設定できるものであり、市民の暮らし、医療を守る立場に立ち、負担の軽減を図るべきである。

賛成 新政クラブを代表し、賛成の討論を行う

国民健康保険税の課税限度額の引き上げについては、高所得者の税負担を増やし、国民健康保険会計全体としての財源を増加させることによつて、将来的な財源不足の抑制を図り、さらに中間所得者の負担を少しでも緩和しようとするもので、負担の公平性という観点からも適正なものと判断されるものである。

また、国民健康保険税の被保険者均等割額と世帯別平等割額に係る5割軽減と2割軽減の拡大についても、低所得の負担軽減に配慮したものであり、同様に適正なものと判断されることである。

少子高齢化が進行する中、持続可能な医療保険制度を構築するためにも、国民皆保険を支える国民健康保険の重要性はますます高まってくるものと思われ、その健全な運営が強く望まれるところであり、今回の改正は、今後も引き続き国民健康保険を健全に維持していくためにも妥当な改正と判断される。

人事案件の結果

鶴岡市固定資産評価員

五十嵐 和彦氏 (三和町)

重要事業要望活動

5月26、29日に鶴岡市の重要事業に関する要望活動を行いました。この要望活動は国の来年度予算編成時期にあわせ、毎年実施しています。

議長、副議長、産業建設常任委員長及び高速交通等対策特別委員長が、県内選出の国會議員や関係省庁を訪問し、市の現状を説明し、要望書を手渡しました。



財務省金計局への要望活動



国會議員への要望活動

一般質問

市政全般について
考え方や方針などを
市当局に質問します

(総括質問を行った議員を除く21人の質問を掲載し、執筆は質問をした議員本人です。)



中沢 洋
議員

在宅介護・医療をどう支えるか

議員 在宅介護・医療には全体をコーディネートする人が必要である。介護ではケアマネジャーが、医療では、かかりつけ医がその役割を担うと思うが、診療科目も専門化され往診する医師も少ない。在宅医療と、かかりつけ医の重要性について伺う。

健康福祉部長 介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けるために、退院支援、急変時の対応等、様々な局面で在宅医療のニーズは高まっており、かかりつけ医の果たす役割は大きい。かかりつけ医を持つことの重要性は、介護予防の取

り組み等を通して周知に努めている。また、高齢者には生活面の支援も必要なため、医療・介護関係者が連携したチームケアの推進が必要であり、この連携システム全体の改善を鶴岡地区医師会等の関係機関とともに検討している。



療養生活を支援する訪問看護

議員 在宅介護を担う看護師の役割増大と看護師不足の対応は、健康福祉部長 近年、看護師の確保が困難な実態にある。対応策として、県や県看護協会を中心に山形方式の看護師等サポートプログラムが策定されており、さらに今年度からは退職看護師の登録制度による再就職支援等の積極的な確保策が図られている。本市でも介護事業所等にこのような制度の周知を図り、これら



秋葉 雄
議員

消費者教育を充実させよ

議員 近年、ネット社会の進展に伴った消費者トラブルが相次いでいる。消費者生活環境が多様化、複雑化する中で、子どもや若者が一人の消費者として安全に自覚的に行動できるように、早期からの消費者教育を充実させるべきではないか。

市民部長 現在設置している消費生活センター機能の一層の充実を図るため、相談員の研修を積極的に行うとともに、窓口における相談のみならず、学校、地域等の団体への出前講座や市広報等への折り込み、消費生活活サポーター制度なども活用して、消費者教育の推進を図っていききたい。

の制度を活用しながら看護師確保に努めることも看護師のニーズを把握し、効果的な在宅ケアにつなげられるよう介護現場で働く看護師の支援策を検討していききたい。



税の収納率向上を図れ

議員 租税の適正な実現があつての市財政である。収納事務の効率化、適正化に向けて、最大の努力をお願いしたい。収納率向上のために、口座振替、コンビニ収納、それぞれの税を一括で振り替える一括納税制度、電子納税などの納税環境の整備を促進すべきではないか。

総務部長 納税は、自主納付が基本であり、口座振替に加え、平成23年度から軽自動車税のコンビニ収納により収納率が向上している。28年度からコンビニ収納を市県民税、固定資産税、国民健康保険税に拡大するためシステム改修などの準備を進めている。今後も多様な収納方法について調査・研究を進めていきたい。



本間新兵衛
議員

空き家に関する諸課題は

議員 本市の「空き家管理条例」の施行による効果について伺う。

市民部長 条例に基づく指導であることを明確化した効果もあり、26年度までに308棟の空

き家解体が進んだ。また、緊急的措置が必要な場合は条例に基づく応急措置を実施している。

議員 廃墟となつている管理者不在の大規模建築物の対応は、市民部長 これまでに数回の応急処置を行うとともに、県に今後の対応を要望している。

議員 U・Iターン希望者への空き家のお試し居住については、企画部長 居住体験することは、移住への課題や不安を解消する上で有効な手段と考えている。

議員 廃校舎等の利用として民間企業への誘致策は、

教育部長 地域から民間誘致の要望を受けた段階で学校跡地利用活用検討会議で検討していく。

地域活性化に繋がる土地利用を

議員 日沿道鼠ヶ関IC(仮称)周辺の土地利用の課題について伺う。

建設部長 課題としては、温海地域の道路休憩施設のあり方や運営方法、高速道路から使いやすい配置やレイアウト、地域全体での防災機能の検討などである。今年度内に基本計画策定を目的し検討を進めていく。

議員 鼠ヶ関地区の津波避難場として本線は有効と考えるが、建設部長 県で公表する津波対

策も併せて災害に備える必要性を踏まえ、防災機能を備えた道路計画を進めるよう検討する。



地域活性化に繋がる土地利用を (鼠ヶ関地区)



尾形 昌彦
議員

マイナンバー制度の周知を

議員 10月から通知カードの配布が始まるが、市の広報、ホームページ、フェイスブック（FB）などを使い、市民に対する周知を急ぐべきではないか。
企画部長 ウェブサイト、FBのほか、市の広報により制度の周知を行う予定である。必要に応じて、高齢者などのため出前説明会を実施することとしている。

市の花「さくら」の保全を

議員 てんぐ巣病やつるなどにより樹勢が弱っている桜の木があるようだ。管理部署はどこになるか。また、鶴岡桜の会の活動への補助、アダプト制度などで保全を行うてはどうか。

建設部長 管理部署は基本的には桜が植樹されている施設を管理する部署が行っている。地域住民から管理の協力が得られれば病巢の早期発見と拡大防止のために効果があるし、桜の会など既存の地域団体、市民との協働は保全と愛護に大きな効果が期待できる。提案の市民アダプト制度等、協働による保全体制が構築できないか検討したい。
議員 観光への利用も含め鶴岡市全体の桜の名所がわかる鶴岡桜マップを作つてはどうか。
商工観光部長 市内の見どころを一覧できるマップづくりに取り組み、ホームページにPDF形式での掲載を考えたい。また、鶴岡桜十景のようなものを設定することにより、市内各所で桜の鑑賞ができることをPRできるのでホームページの充実などを検討したい。



岡村 正博
議員

三川町からの廃棄物受け入れは 充分な検討が必要

議員 三川町からの廃棄物受け入れの今後について考えを伺う。
市民部長 平成19年3月に鶴岡地区衛生処理組合を解散した際、直ちに三川町が自ら処理を行う体制には移行できなかったことから、「当面の間」との考え方で協定を両市町で締結し、現在に至ったところである。自立を選択した三川町が、将来的には基礎自治体として自ら廃棄物処理を行うことを前提とした措置であり、将来にわたる受託の継続は想定していないものである。今後についても、三川町が自ら責任を果たすべきと考えているが、庁内検討委員会等で検討していきたいと考えている。

最終処分場の実態と 新最終処分場の計画は

議員 現在の最終処分場の実態と住民との協議について伺う。
市民部長 平成30年が使用可能期限であるが、現時点で約80%の埋立比率であり、期間延長が

可能と考えている。こうしたことから、岡山環境対策協議会から、施設運営について御指導をいただきながら、処分場の埋め立て期間延長を図り、次期最終処分場の供用開始につなげたい。議員 新処分場の計画について伺う。

市民部長 上郷地区内の土地について適地調査を実施し、候補地の絞り込みを行っていきいたいと考えている。



菅原 一浩
議員

コミセン等の公共施設 バリアフリー化への対応は

議員 第一学区の調査報告では、地域コミュニティと防災の拠点となるべきコミセンのバリアフリー化について指摘されているが、対応方針について伺う。

市民部長 コミュニティ施設の改修や施設整備にあたっては、地域の御要望や必要性を考慮し、緊急性の高いものから順次実施している。今年度は第四学区コミセンの駐車場拡張のほか、第一学区コミセンをはじめとする6施設において、トイレの洋式化や階段への手すりの設置等の

整備を行う予定である。



整備された身障者用駐車場 (第一学区コミセン)

民生委員の委嘱の現状は

議員 民生委員の委嘱の方法と配置状況について伺う。また、小学校区と担当民生委員受け持ち区域が異なる例はあるか。民生区の変更に可能か伺う。

健康福祉部長 民生委員の選任については、各学区や自治会、住民会などから内申された方を市の民生委員推薦会に諮り選考した後、県知事に推薦している。県知事はこれを審査し厚生労働大臣に推薦し、大臣が委嘱する。5月現在で347人の民生委員・児童委員が委嘱されている。民生区と学区が一致しない地区に第一学区と齋地区、第六学区

※アダプト制度：行政が特定の公共財（道路、公園、河川など）について、市民や民間業者と定期的に美化活動を行うよう契約すること。

と大泉地区の例がある。定数については基準により算出されるが、市長の意見をもとに県知事が定めるため、民生区の変更も含め、三年に一度の一斉改選の際に変更することは可能である。



本問 信一 議員

第2子以降の保育料無料化は

議員 少子化の大きな要因として、未婚化、晩婚化の進行があり、結婚しても出生数が減少し続け、少子化に歯止めがかからない。対策として、家庭の経済的負担軽減のために第2子以降の保育料無料化に取り組んで。健康福祉部長 2人以上同時に保育所を利用している場合は、第2子の保育料は半額で、同一世帯に小学生以下の子どもが3人以上いる場合は、第3子以降の保育料を市単独で無料としている。軽減総額は約1億1千万円となり、第2子以降の無料化には新たに約9千万円の財源が必要である。重要な課題ではあるが、国・県の動向、財政状況を踏まえ慎重に検討する。議員 市長は少子化は止められ、という決意を述べているが、

第2子以降の保育料無料化というのは、重要な課題と考えるが市長の見解を伺う。

市長 中学3年生までの医療費無料化で、国から補助金の減額措置がある。国や県が、しっかりと下支えしてくれば第2子以降の保育料無料化に取り組みると考えている。



鶴岡市子どもまつりの様子 (中央児童館)

鶴岡羽黒線十文字野荒町地内の道路補修は

議員 県道鶴岡羽黒線の当該地区は道路の凸凹で、車の水はねに子どもたちはひやひやしている。道路の補修状況は。建設部長 県でも認識しており、道路全幅員のオーバーレイの実施を検討していると聞いている。



上野多一郎 議員

つるおかアグリプランの推進を

議員 施設園芸、果樹など複合経営の推進策は、担い手確保策として新規就農者、U・Iターン就農の育成と現状は。農林水産部長 複合経営の必要性は現在の米価格等の状況から安定的な農業所得を確保するため最も重要と認識している。パイプハウスや果樹棚等の初期設備が高額であり、果樹は十分な収入を得るまで長期間が必要である。補助事業の支援や既存施設の有効活用で関係団体等の協力を得て、施設園芸や果樹などに組みやすい環境づくりが必要と考えている。

議員 農業後継者の育成、確保は喫緊の課題となっており、国の青年就農給付金を活用し、53人が受給し就農している。U・Iターン就農は地域農業の維持、発展に有効である。農業体験プログラム等の事業を通して、農業に興味のある方に農作業などを体験していただき、本市で実施している移住・定住促進事業と連携し、取り組んでい

きたい。議員 耕作放棄地の発生は大きな課題であり取り組みの現状は。農業委員会会長 耕作放棄地は田、畑合わせて286haで、本市の農用地面積の約1・5%となっている。未然防止として調査を実施している。再生に要した経費の2分の1を国が、4分の1を市が補助し、6ヶ年で65haの再生事業を実施している。今後も耕作放棄地の解消と発生の未然防止に努めていきたい。



佐藤 博幸 議員

福祉のまちづくりの柱となる次期「地域福祉計画」を伺う

議員 子どもの貧困・引きこもり・集落維持など新しい課題が増えている。住み慣れた地域で安心安全の生活のために総合計画に次ぐ重要な計画である。次期計画の基本方針・推進策は。



健康福祉部長 現在の計画の進捗状況をまず検証し、次期計画に反映させる。策定委員会を設置、住民座談会を開催し、次期計画には生活困窮者自立支援方策、人口減少対策の集落機能維持も盛り込みたい。

「地域福祉計画」推進において市社会福祉協議会の役割は

議員 社協は社会福祉法でその目的を地域福祉の推進を図るとしている。「地域福祉活動計画」策定・推進に、市は今後どのような役割を期待しているのか。健康福祉部長 住民とともにニーズを敏感に受け止め、積極的に地域に入り、支え合いの仕組みづくり支援、意識改革を期待している。

市社会福祉協議会の方向性は

議員 第五学区社協・藤島福祉センターの先進事例もある。事業型社協から地域福祉を重点にした経営資源の投入、組織体制の充実、職員の意識改革等事業展開を期待している。考えは。健康福祉部長 これからはまちづくりであり、地域に福祉をどう組み込み、地域組織・活動に福祉をどう取り込んでいくかが重要と考えている。

※オーバーレイ：一般的には既設アスファルト舗装、コンクリート舗装の上にアスファルト混合物を舗設する修繕工事



佐藤 久樹
議員

歴史資料の展示収蔵を適切に

議員 本市が生み出した著名人の資料保存と展示について伺う。
教育長 大宝館の来館者数は3万人を超え、うち約8割は県外からの観光客となっている。展示人物は、小中学生も親しめるように「鶴岡が生んだ人びと」の書籍にまとめて出版している。各地域の文化施設でも本市の礎を築いてきた人物顕彰を行って、いるが、少子高齢化などにより遺族や関係者が大切に保存・継承してきた資料の散逸や消失も懸念される。教育委員会として学術的見地や希少性を判断し適切な保存管理が行えるよう研究する。また、観光客の誘致につながるようにも取り組む。

有事に万全な消防資機材設備を

議員 各方面隊に配備してある老朽化した備品更新状況と市消防本部の取り組みについて伺う。
消防長 郷土愛と奉仕のもと、日夜献身的な地域防災力の「要」である消防団は、なくてはならない組織である。ポンプ自動車や

小型ポンプ等は消防車両等更新計画を作成して耐用年数を設定しているが、一台当たりが高額なため計画どおりに更新が進んでいないのが現状だが、有利な財源を活用して整備を進めたい。消防本部の取り組みとして、マスコットキャラクターのてんじんくん着ぐるみ活用や、消防フェスティバル、住宅防火防災キャンペーンの開催により市民の防火意識の高揚を推進したい。



消防本部マスコットキャラクター
てんじんくん



小野寺佳克
議員

地方版総合戦略の策定は

議員 本市の地方版総合戦略をいつまでにどの様に策定し、取り組んでいくのか伺う。

企画部長 現在、素案作成のため庁内各課から盛り込む施策を取りまとめている。その後、人口減少対策総合戦略会議、ワーキンググループ等で原案を検討し、産業界、教育界、大学、金融機関、労働団体、メディア等、市民各層の有識者で組織する総合戦略策定推進会議で審議・検討する。また、策定の各段階において市議会の人口減少・地域活性化対策特別委員会に説明し意見をいただきたいと考えている。各方面から広く意見をいただき、パブリックコメントも行う。10月末までの策定を目指す。策定する総合戦略は、鶴岡市総合計画実施計画における重点方針の一つに位置付け、人口減少の克服及び国の地方創生政策の施策分野に特化した総合政策パッケージとし、対象期間は5年間とする。

仕事づくり、移住・定住促進、結婚・出産・子育て支援、安心なまちづくりの4つを基本目標として構成し、各分野の基本的方向と具体的な施策を盛り込む。中でも、仕事づくりを最重要事項とし、仕事人を呼び、人が仕事を呼び込む好循環を確保し、人口減少の課題が解決され、活力あるまちを形成する方向を目指す。また、5年間に実現すべき成果の数値目標を示し、事業成果を検証し、必要に応じて総合戦略の見直しも行っていく。



今野 良和
議員

鶴岡藤島間道路の早期事業化を

議員 促進期成同盟会の会長である市長を先頭に長年運動しているが、厳しい状況が続いている。打開に向けての今後の取り組みについて伺う。
建設部長 想定されるルートには、赤川、JR羽越本線などがあり相当な事業費、期間が見込まれる。事業化に向け、説得力のあるストック効果を具体的に示し、官民一体となって粘り強く要望活動を展開していく。

新ごみ焼却炉建設と三川町との合併問題は

議員 新焼却炉建設に向けた、今後のスケジュールと、三川町からの受委託の最終判断時期、庄内南部地域一体化方策と合併対話のスタンスについて伺う。
総務部長 合併以来、最大規模の事業費となるごみ処理施設の事業着手を控えたこの時期こそ、

三川町の考えを求めるタイミングであろうと考えている。
市民部長 建設期間は最低でも3年、平成30年度当初の工事着工、29年度中には、工事請負契約の締結を前提に受託の有無を協議決定していきたい。

市長 地方が消滅可能性都市の可能性も膨らんでいくなかで、お互い心をつなげていく必要がある。早晩、合併に当たって三川町に申し入れしなければならぬ事態が必ず来ると思っている。



齋藤 久
議員

『食文化の日』の制定を

議員 鶴岡の食文化が、世界的に認められた。このユネスコ創造都市加盟の意義を市民が共有しながら、食文化の魅力を国内外にどう発信していくか。そして、食の理想郷を次世代に継承するため『食文化の日』を制定してはどうか。
企画部長 ユネスコ創造都市の認定を受けて高まった情報発信力を生かして、国内外へ鶴岡の食文化の魅力を強力にアピールする。『食文化の日』制定は、地

※ストック効果：社会資本の整備が民間投資を誘発し、経済効果を効率化させる効果

域の食文化を市民が振り返るきっかけづくり、市民がクリエイティブに活動することを再確認する日として、有効な手段になる。先月、金沢市で開催されたユネスコ創造都市ネットワーク世界会議で、食文化分野の都市が共通の『食文化の日』を設け、全都市が同じ日に食文化を振興する活動を行うことが提案され、来年の世界会議で協議が行われる予定になっている。この世界の食文化都市の動向も見ながら前向きに検討していく。



昨年開催の鶴岡ふんど駅スポ・庄内酒まつりの様子

本市の補助制度の有効活用を

議員 米の過剰基調が続くなか、園芸や畜産振興を推し進める必要がある。施設支援は、属人対応か属地主義か。

農林水産部長 畜舎のような面に基礎を打つ必要のある施設は、その土地にある自治体が支援する属地が原則だ。基礎を必要としない施設は属人と考える。補助事業の要綱によって適切に判断する。



菅井 巖
議員

子ども医療費無料化拡大を

議員 中学3年生まで医療費無料化を高校生まで拡大できないのかと要望がある。遊佐町が今年度から18歳までの医療費無料化を始めた。本市でも早い段階から検討し、取り組むべき。財源として、国の地方創生先行型予算を活用することで、普通調整交付金の減額措置がされないことが、国会質疑で明らかだ。こうした考えを活かすべきでは。

健康福祉部長 18歳までの医療費無料化については、助成対象の拡大で国保の国庫負担金等の減額措置の拡大が懸念される。全国的にも実施例・参考例も少ないことから現時点での実施は考えていない。県への制度拡充要望を引き続き行っていきたい。

地方創生交付金の活用について

は国会で質疑があったことを承知しているが、減額措置との関係がはつきりしていないことから国や県の動向を注視したい。

公園遊具の改修と整備を

議員 中央児童館や鶴岡西部公園の故障使用禁止の遊具、水飲み場付近の土が掘れた陥没箇所、アスレチック施設の築山の斜面の崩れなど改修と整備は。

健康福祉部長 中央児童館の屋外大型遊具は整備されてから14年経過しており、安全面に配慮し、早めに撤去する方向である。撤去後は関係方々の意見も踏まえて検討を進め整備したい。

建設部長 鶴岡西部公園の遊具は、今年度作る長寿命化計画に基づき、更新を考えていく。



撤去が予定される屋外大型遊具



加藤 太一
議員

メンタルヘルス対策の充実を

議員 本市職員の精神的な障害・病気による休暇取得の状況、治療・療養している人数、メンタルヘルスの対策は。メンタルヘルスの専門職員の配置が必要ではないか。

総務部長 一ヶ月以上の療養を要した職員のうち、メンタル面に起因したのは約4割。対策として専門家による研修、情報共有に努めている。12月からストレスチェックが義務付けられたので、フォロー等の対策を含め実施していく。また、保健師を配置し関係者と連携している。さらにいい方法を考える。

パワハラ・セクハラ対策は

議員 メンタルヘルスと一体的な関係にあるパワハラ・セクハラとの相談窓口、マニュアルの策定等対策は。

総務部長 人事担当部署への通報、自己申告を受け対応。良好なコミュニケーション、働きやすい職場づくりを進めていく。

スクールバスの運用改善を

議員 合併、学校統合で広くなり、多彩な地域学習が重要になっている。校外授業の拡大、スクールバスの利用拡大・改善が求められるが。

教育部長 スクールバス運行は旧市町村ごとに運用している。統合した学校は今年から2回にした。地域学習拡大の要望もあるが、運行契約、財政等課題もあり、市全体で将来に向け有効な方策を考えたい。



渡辺 洋井
議員

障害者優先調達法の積極的推進を

議員 この法律は公の機関が物品や役務を調達する際、障害者就労施設等から優先的、積極的に購入することを推進するために2年前に制定された。庁内の周知徹底を図り、障害者の経済的自立、生き甲斐のために調達の実績を強力に押し進めるべきである。今後の方向性は。

健康福祉部長 年度ごとの調達方針、実績、調達できる内容等を各課へ周知し、福祉課が中心となり調整を図りながら行って

いる。26年度の調達額は、174万円余りで前年比33%増。発注量を着実に増大させるために関係課の連携を強めていく。市民への周知にも極力努める。



障害者優先調達法の実施例（清掃作業委託）

市の新たな認知症対策は

議員 認知症は、誰にも訪れ得る当たり前の病気。国の認知症施策推進総合戦略を受けての市の新たな認知症関連事業計画は、健康福祉部長 5つの認知症対策を進める。認知症サポート養成、健康づくり事業と連携しての予防対策、認知症初期集中チームを設置しての早期発見・相談支援、認知症の人や家族等が交流できる場づくり、並びに認知症ケアパスの普及等を行い、認

知症になっても本人の意思が尊重される支援体制を作る。

議員 認知症高齢者の事前登録を行い地域で見守る体制作りを健康福祉部長 ほつと安心見守りネット鶴岡の事業を推進する。



石井 清則
議員

危険空き家への取り組み強化へ

議員 空き家対策に関する特別措置法の施行で、市の空き家問題の解決に向け期待する市民も多いと感じる。現在市では2度目の空き家調査を行い、その調査が終了すれば、前回からの空き家の実態変化が明確に現れる。経年劣化により危険な空き家も

増えているのではないかと心配されるが、今後の取り組みは。市民部長 今年度は全市を対象とした実態調査を実施し、年度内に調査結果をまとめ、空き家の発生・除却状況の分析等を行う予定となっている。今後は、調査で判明した空き家所有者の意向を確認し、今後の活用または処分などの働きかけを行うことで新たな空き家の発生を抑制したい。また、適正管理の強化として倒壊の危険のある空き家

に対し、積雪時期を迎える前に、助言・指導を行うなど取り組みに力をいれたい。

出羽三山参りで観光に追い風

議員 東の奥参り事業の内容は、商工観光部長 国のプログラム事業期間はおおむね3年。2年目の今年は、夏に向けて双方からの旅行商品の販売支援を行い、その後二次交通の実証実験などに取り組んでいくと聞いている。出羽三山は市の観光振興の重要な柱で、西の伊勢・東の出羽三山と位置付けられPR展開が図られることは、心強い追い風となる。市としても、宿坊と精進料理を組み込んだ体験プログラムを開発し、積極的に取り組んでいきたい。



出羽三山神社三神合祭殿



今野美奈子
議員

スポーツ保護者の負担軽減を

議員 スポーツ少年団の活動への具体的な支援策は何か。教育長 保護者負担については、団の個別の活動であり、出場する大会の選別など、各団で指導者、保護者が話し合っていたきたい。

学校のICT環境整備は

議員 教員手書きの諸帳簿をできる限り、電子化できないか。また、学校に負担をかけない方法でホームページを整備できないか。

教育長 公務のさらなる電子化を進めていくことは喫緊の課題であると認識している。諸帳簿等の電子化について、現在、他市町村の導入状況、導入に係る経費等の情報を収集して調査・研究をしている。

学校のホームページ整備は、担当者の時間的負担や後任者の不足、内容の更新への対応などの課題もある。学校に過剰な負担をかけることなく整備する方法がないか、関係課と連携しな

がら、前向きに検討したい。

市民によるがん啓発活動への対応は

議員 ピンクリボンやリレー・フォー・ライフなどの、市民によるがん啓発イベントを市はどう受け止めているか。

健康福祉部長 様々な立場でがん検診啓発の市民活動が拡大される事は大変有効である。一体的に活動展開を推進するために、連携のあり方を検討していく。



小野 由夫
議員

林道整備着手の基本的考えは

議員 林道整備について地域の声をどう予算に反映しているか。また、何を基準に整備に着手するのか。

農林水産部長 整備予算は、修繕工事と改良工事の二つの基準に定められ、県の森林整備必携に準じ予算計上している。地域の要望があつたものは、巡視等により損傷の度合いや利用状況等を勘案し対応している。



※認知症ケアパス：認知症の人やその家族が早期の適切な対応を可能にするために、その状況に応じて利用できる機関やサービスをわかりやすく示すなど、認知症の人や家族が安心して暮らせるよう地域で支える連携の仕組み
※ICT：情報・通信に関する技術の総称

水路などの危険箇所の修復の実施基準は

議員 水路などの危険箇所の修復についての対応と実施基準についての捉え方は。

農林水産部長 基本的に管理者が行うこととされている。土地改良区等農業団体や市が管理するため池や水路は、破壊による洪水や鉄砲水が発生し、人命に危険が及ぶおそれのある箇所を優先的に実施している。また、管理者だけの修繕や改修が困難な場合は、国庫補助事業等を活用し対応する場合もある。

鶴岡公園に常設舞台設置を

議員 鶴岡公園に常設のイベント用舞台を設置する考えは。

建設部長 疎林広場への常設のステージ設置は、現在のところ必要性が低いと判断している。芝生を損傷しない仮設ステージであれば許可している。



加賀山 茂
議員

観光の活性化を

議員 本市は、四季が織りなす恵まれた自然の環境にあり、観

光を発展させるには最適な地域であると考える。食文化、海、山、里の幸を生かした観光、ラムサール条約登録湿地の大山上池・下池、都沢湿地、高館山、湯野浜温泉、いこいの村庄内や善宝寺等の回路与、スポーツイベントとのタイアップ、滞在型観光、在来淡水魚や水中昆虫、小動物等の観察館、樹木と野草の観察、自然体験等、教育・文化面を取り入れた観光、優れた自然の中に多様な機能を備えた施設が現存している。新たに観光をつくる考えは。



ラムサール条約登録湿地の大山上池

商工観光部長 観光誘客を図るには既存の観光地を個々にPRするだけでなく、鶴岡市、庄内としてのモデルコースを整備す

る必要がある。今年度は、庄内観光コンベンション協会においても、モデルルートづくりを提案し、スタンプラリーの形で新たな取り組みを行っている。上池、下池、高館山を中心とした新たな観光ルートは、動植物、紅葉、眺望に恵まれ、ラムサール条約の登録湿地であり、自然に親しむ環境が整っている。入館者83万人を超えた加茂水族館、50万人入り込みの湯野浜温泉、大山公園、山門や五重塔で評価が高い善宝寺等、観光ルートとして資質が高い。スポーツ大会はスポーツの振興面だけでなく、観光振興の面でも効果が大きい。今後は、滞在型観光の振興に当たっていききたいと考える。



田中 宏
議員

※チャレンジデーと参加型観光を

議員 チャレンジデーの成果と来年度の方針は。

教育部長 参加者数75,865人、参加率57%で目標を達成した。3年目を迎え、広く市民に理解され、多くの団体と幅広い年代が参加している。羽黒山の石段登りなどの観光目的でも参

加は可能である。来年度は天神祭と同日開催だが、パレードや化けもの等への参加だけでなく、見学者の参加が課題であり、クイズラリーなども検討する。

小学生の自転車の乗り方は

議員 小学生のヘルメット着用と交通安全指導の現状は。

教育長 自転車に乗る時にヘルメット着用が義務の小学校は35校中13校で3年前より良くなっている。自転車通学者のいる中学校では10校中7校である。引き続きPTAを通して働きかけていく。6月の道交法改正をよい機会と捉え、安全指導を強化していきたい。



小学校での交通安全指導の様子

市民のまちづくり活動への支援は

議員 鶴岡いきいきまちづくり事業の実績は。審査過程を公開する考えは。優れた事業の成果を市民に共有してはどうか。

企画部長 6年間で延べ150件に約2,400万円を交付してきた。審査は市民4人と職員1人の合議制で、波及性・独自性・具体性・発展性を採点している。公開プレゼンなど審査過程の公開は考えていない。優れた活動事例を広く公表することは重要である。

質問の仕方が 変わりました

今定例会から一般質問の質問の仕方を選択制に変え、試行的に実施しました。

●「一括質問一括答弁」

質問項目すべてについて一括して質問し、一括して答弁を求める従来の方式

●「一問一答」

質問項目ごとに質問し、その都度答弁を求める方式

※チャレンジデー：毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベント。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の参加率を競い合う。

議会の活動

議会で参加した主な
行事を紹介します

朝日中学校視察

3月に完成した、朝日中学校の新校舎を視察しました。

市有林及び鶴岡産の杉材を使用した木のぬくもりがある、開放的で明るい校舎でした。また、木質ペレット暖房やLED照明が採用され、環境にも配慮されていました。

屋内運動場付近には自家発電設備や、汚水貯留槽を整備し、災害時の避難所として使用できる設備を備えていました。



消防団春季消防演習

5月23日、小真木原陸上競技場で鶴岡市消防団春季消防演習が開催され、正副議長と市民文教常任委員が出席しました。市内の1,105人の消防団員が参加し、消防車両の展示や、纏振り、梯子乗り、分列行進など、日頃の練習の成果と団結力を披露しました。また、消防音楽隊の演奏や、東部保育園の園児によるアクションが華を添えていました。



庄内空港シンポジウム

5月31日、「庄内空港のさらなる飛躍に向けて〜地域活性化の活路として空港のありかたを探る」と題したシンポジウムが開催されました。「庄内」の認知度を高めるとともに、滑走路の延長、機材の大型化の必要性など様々な意見が発表されました。

鶴岡天神祭

5月25日、庄内三天まつりの一つである鶴岡天神祭、通称「化けものまつり」が開催され、議員もパレードに参加し、祭りを盛り上げました。

長襦袢に手ぬぐいと編み笠で顔を隠した化けもの姿になり、お酒やジュースを振る舞いながら、市内中心部を歩きました。化けもの姿で3年間誰にも知られずに鶴岡天満宮へお参りができると、念願が叶うと言われています。



水防訓練

6月21日、赤川河川敷で水防隊による水防訓練が行われました。有事の際に即応できるように日頃から訓練をしています。堤防斜面でのシート張り工法など、4種類の工法と工法点検が行われました。





傍聴の様子

議会を傍聴してみませんか

- ◆ 議会は、次の方法で傍聴できます。
 - ◆ 議場の傍聴席で本会議を傍聴できます。
 - ◆ 本所4階ロビーに傍聴の受付があります。
 - ◆ 本所及び各庁舎の市民ロビーのテレビモニターで視聴できます。
 - ◆ インターネットで中継及び録画放送が視聴できます。
- 議会日程のうち、委員会はテレビモニター放映や、インターネット中継が行われておりませんので、ご注意ください。

9月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
		1 本会議 (総括質問)	2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	5
6	7 本会議 (一般質問)	8 決算特別委員会 予算特別委員会 高速交通(※)	9 総務 常任委員会	10 市民文教 常任委員会	11 厚生 常任委員会	12
13	14 産業建設 常任委員会	15 委員会予備日	16 委員会予備日	17	18 議会運営委員会	19
20	21 (敬老の日)	22 (国民の祝日)	23 (秋分の日)	24 決算特別委員会 予算特別委員会	25 本会議	26
27	28	29	30	意見書・請願 提出期限 8月26日(水) 午後1時 ※高速交通等対策特別委員会		



議会傍聴アンケート

6月定例会を傍聴された方に、ご協力いただいたアンケートに寄せられたご意見・ご感想の一部を紹介します。

- ・子どもの貧困化が問題になっていますね。特に片親の場合。私も3人の子を持ちましたが、孫は1人しかおりません。子を産まないというのは一言では言いきれない事情もあるでしょうが、ある情報誌では東北で一番住みたい街に選ばれたとか…。少子化対策、頑張ってください。
- ・興味深い議題がたくさんありました。また時間があれば、傍聴してみたいです。

編集後記



いよいよ夏本番を迎え、さまざまなイベントが行われています。熱中症に注意して、休養と水分補給をしっかり行い、暑い夏を乗り切りましょう。

定例会の様子は、市議会のホームページの録画中継でも見ることができます。是非ご覧ください。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

〒997-8601
山形県鶴岡市馬場町9-25 鶴岡市議会事務局
電話：0235-25-2111 FAX：0235-25-2123
メール：gikai@city.tsuruoka.lg.jp